



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこばと

2020.2

No. 431

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



上尾丸山公園鳥見案内

近藤龍哉(上尾市)

上尾丸山公園は、上尾市の南西部に位置し、自然学習館や天文台も備わって、地域の自然学習の拠点となっています。もちろん、なかなかの探鳥地でもあるのです。

それは、構想時に自然資源をよく調査分析し、それを活かした設計思想に寄ることが大きいと思います。資源の第一は、なんといっても広大な荒川流域に接していること、第二にそこに流れ込む小川、谷戸という地形を活かし、自然の斜面林と小川に沿った湿地を、あまり手を加えずに残してあることです。人の多く集まる児童用の遊具施設や多目的広場（グラウンド）は南側に集められているのも工夫です。

ここではいったいどんな鳥が見られるでしょうか。

毎年2月（**今月は15日（土）、P8参照**）と11月の2回、当会の探鳥会が開催されていますが、毎回の探鳥会で見られるのはせいぜい35種前後です。しかし、1999年からの20年分のデータによると、出現鳥種は延べ76種、けっこう多様です。

現在のコースに沿って、見どころを挙げてみましょう。

集合場所は**南口**の藤棚の下。早朝の7時40分集合は、群を抜いて早い。バスの運行に合わせたのですが、何より、8時前のこの公園の静けさは貴重です。8時になると、広場ではグラウンドゴルフが始まり、各所で清掃作業が始まります。落ち葉を吹き飛ばすエンジン音は、鳥見にはちょっと……。

最初に**大池**。池の畔には静かに釣り糸を垂れる人。静かな水面を遠望すればカルガモにカイツブリにオオバン。カワセミやハクセキレイが飛ぶ。この池は、深みもあるらしく、潜水カモのホシハジロやキンクロハジロの姿も見られることがあります。

中の島周辺には、メタセコイアが林立し西洋庭園の趣ですが、その樹上をよく見れば、この池の主、2羽のカワウが見られるでしょう。20mの高さで翼を広げるポーズをしているときも。白い繁殖羽は見えるかな。

修景池はうっそうとした木陰にあり、なぜかマガモたちがここを好みます。池に張り出したモミジの枝か白い糞跡のある岩の上にカ

ワセミの可能性も。去年は目のいい方が、トモエガモを見つけてくれました。

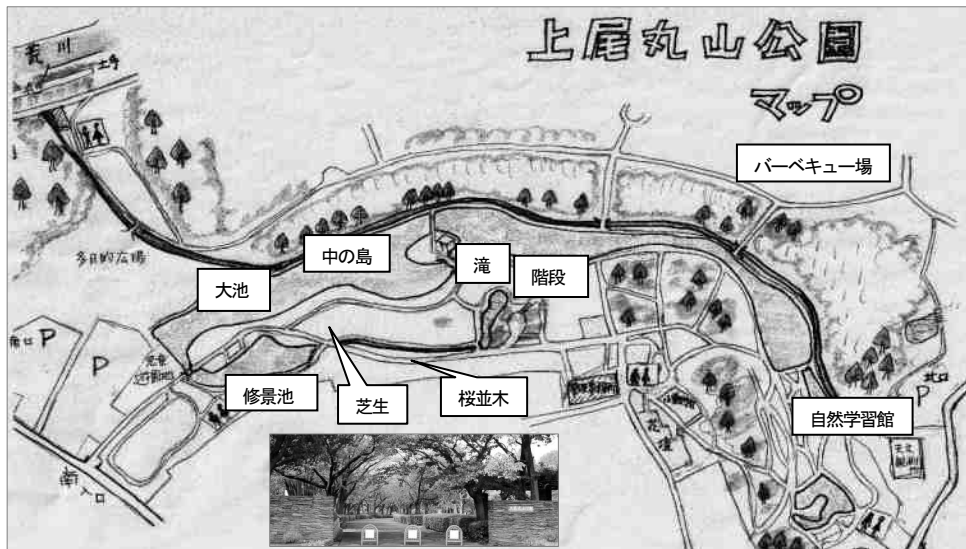
その先は、エントランスから続く**桜の並木**。4月には夜桜見物もできます。この大木の並木は、シジュウカラたちの混群の通り道、コゲラの声が聞こえたら、メジロやエナガも見られるはずです。

横切ると広い**芝生**が広がり、ところどころにつつじの植栽やケヤキの木が植えられています。芝生にはツグミ、セキレイ、植栽の下にシロハラなども。広い空を見上げることも忘れずに。猛禽やヒメアマツバメも飛びます。

岩を組んだ人工の**滝**が見えてきたら、そつと近寄りましょう。ここはジョウビタキ、カワセミ、キセキレイのスポット。岸壁から3筋か4筋、滝が流れ出すのは9時からです。

滝を横眼に見て、坂（**階段**）を登ると眺望が開け、遠くには秩父の山、広々とした園内の樹木の梢をみわたせば、シメやカワラヒワ、運がよければアトリの群れが見られるかも。台地の上はコナラやクスギ、杉やヒノキも混じったちょっとした林になっていて、渡りの頃は、立ち寄りの場ともなっています。林床は少し笹が残るものの、今は地面がむき出しです。この林が、ずっと北口近くまでいて、混群やカケス、ケラ類に逢えることもあります。

北口を入ったところに自然学習館と天文台があります。自然に詳しい係りの人がいて、なんでも親切に教えてくれます。自然や地域に関する資料も多数あって調べることができ、鳥の剥製や作品などの展示物があり、自然観



祭の催しもあるので、是非お寄りになることをお勧めします。

自然学習館の裏手は、竹林から斜面林、下るとその先が割に広い湿地で、ここがこの公園一押しの観察場所です(私見)。以前はコースに入っていませんでした。シロハラ、アカハラ、キジ、クイナ、カシラダカ、ホオジロ、ベニマシコ、ジョウビタキ、アリスイ、ノスリ、アカゲラ、アオゲラなど、ここで出会った鳥は挙げたらきりがありません。

ミニ・ビオトープの池を過ぎると市営**バーベキュー場**で、広い草地はツグミの採餌場。その奥にはシンジュ(神樹、別名:庭漆)の林があり、この高い梢は要注意。いろいろな鳥がとまります。

舗装道路はここまで。この先は、公園の外周の細道です。前述の湿地が、川に沿って細長く続き、奥には柳や雑木も生え、ジョウビタキやアカハラなどもとまります。背に竹藪のあるあたりは、ウグイスやアオジ、カシラダカ。足下に出たと思うと、すぐに隠れてしまします。その先、背に森の所ではルリビタキが出ることがあります。

湿地の尽きた所から、**荒川の土手**を目指します。このあたり荒川左岸は、台地なので土手は少ないのですが、ここは一部だけ高い土手が築かれ、水路がトンネルになり水門があります。土手の上は海拔20メートルほど、天気によければ遠く富士山が望めます。秩父

の山々もくっきりと見えるでしょう。ノスリを探し、オオタカが飛ぶのを待ちます。河原にヒバリやタゲリを発見するかも。

現在は、コースはここまで。以前は土手を下って川岸のサイクリングロードに出て畔吉河岸跡まで遡り、屋敷林のトラフズクを覗くこともできたようですが、その木も今は無く、自転車のスピードも危険なので、このコースは使っていません。

この公園では、冬鳥は4月末まで楽しめます。自然学習館裏の湿地に張り出した桑の大木に渡りのキレンジャクの群れを見たのは10年前の4月20日でした。

6月中旬には1万株の花しょうぶが咲きますが、その頃、大池でビックリする光景を見たことがあります。青空に突然10羽ほどの白い鳥が飛びまわり、何だろうと思っているうちに、次々に急降下して水に突っ込んだのです。ズボッ、ズボッと突き刺さるように飛び込み、水しぶきがあがります。午後の4時半から切れ切れに6時頃まで続けました。後で、これがコアジサシの漁だとわかりました。私が鳥見を始めた年のことなので、もう15年も前のことです。写真はどれもピンボケですが、記憶とは有り難いもので、その時の驚きと興奮はいまでも思い返して味わうことができ、今度は何に出会えるかなと、期待が膨らむのです。

野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

●ヨーロッパトウネン

英名 Little Stint

学名 *Calidris minuta*

分類 チドリ目シギ科オバシギ属



匿名希望の本会会員より、2019年9月14日に行田市内の休耕田で撮影した写真（左）が寄せられました。

トウネンに比べて嘴と足が長く、また、体上面の黒い軸斑がはっきり太いこと、副眉斑と呼ばれる淡色の頭側線のあることがわかります。

写真を検討した結果、当委員会はヨーロッパトウネンであることを確認し、2006年11月の越谷市（本誌2007年6月278号）、2017年10月の川越市（同2018年1月406号）に続く当県内3例目の記録として発表します。

2019 年秋 県内各地のシギ・チドリ渡り状況 日本野鳥の会埼玉 IT 委員会

2019年も当会HPで秋のシギ・チドリの渡りの情報を募集し、7/17-10/6の間に、県内各所から72件もの観察記録を頂くことができました。情報を提供してくださった皆様には感謝申し上げます。

集計の結果、チドリ類は5種（ケリ、ムナグロ、イカルチドリ、コチドリ、シロチドリ）、シギ類は13種（オオジシギ、タシギ、ツルシギ、アオアシシギ、クサシギ、タカブシギ、キアシシギ、イソシギ、トウネン、ヨーロッパトウネン、オジロトウネン、ヒバリシギ、エリマキシギ）で、計18種という記録となりました。

2018年秋の19種からは1種減りましたが、ここ数年のなかでは平均的な値と思われます。引き続き県内もシギ・チドリの重要な渡りの拠点になっていることが確認できたことが、何はさておき、一番の収穫です。

一方、シギ・チドリが主に利用する、夏水田んぼの様子には変化もありました。例年多数の観察記録が報告される「行田市・利根大堰周辺」の夏水田んぼにほとんど水が入って

いなかったことです。この為、これまではポイントとして知られていない水場まで探していただくことになりました。

「春日部市・倉常」も安定して水が入らない状態が続き、例年の賑わいはありませんでした。それでも18種を確認できたのは、より多くの方が、より多くの場所へ足を運んでいただいたおかげです。

これからもシギ・チドリに興味を持ってくれる方が増えることを期待いたします。

最後に観察情報が最も多く寄せられたポイントを紹介します。

種数、個体数共に最多だったのは川越市久下戸（通称：南古谷）で、11種、739個体となりました。観察者が多いことも要因ですが、それを差し引いても県内有数の渡りの拠点となっているのは間違いなさそうです。

今年も渡りのシギ・チドリ達の為に、夏水田んぼが多くできるといいのですが。

（文責 佐野和宏）



野鳥情報

杉戸町大字才羽(54390621) ◇9月5日午後4時10分頃、広域農道を春日部方面へ車で南下中、左側の稲刈りの済んだ田んぼでケリ10を目撃。丁度、道の駅「アグリパーク夢すぎと」の東側、広域農道を挟んで向かい側であった。一旦、倉常に寄った後、同道の駅に駐車し、広域農道の反対側歩道より個体数10羽を再確認して写真も撮った。なお、倉常は一面草に覆われ水気もなくシギ・チはいなかった。稲刈りの最中につき農作業の邪魔にならぬよう要注意(石川敏男)。

川越市久下戸(53396473) ◇9月6日午前10時10分、コチドリ4、休耕田で水の引けた所にコチドリがいた。10時40分、アオアシシギ1、水が入って稲の塊が植えてある。鳥がよく入る所で静かに近寄って行ったが鳴きながら飛んで行ってしまった。「キョン、キョン、キョン」と綺麗な声に聞こえる。9月8日午前8時30分、コチドリ1、道路脇の水が入った休耕田に飛んできた。8時40分、コチドリ3。9時15分、コチドリ5、中央に水や草がある大きな休耕田。畦に近いところでコチドリ、ダイサギもいた。9時25分、コチドリ7、鳴き声がして群れが近寄ってきたが、飛んで行ってしまった(今村富士子)。

蓮田市 西城沼公園周辺 ◇9月8日午前8時30分、サシバ2、メタセコイアの天辺にとまっていた。11時10分、同じメタセコイアの天辺にとまっていた。この樹は周囲よりも樹高があり、タカが好きな樹のようだ。久しぶりにコジュケイが轉った。まだ健在だった。9月11日午前9時30分、サシバ1、屋敷林の檜の木の天辺に止まっていた。9月14日、ムクドリ200±が電線に並んだ。その中にコムドリ3〜5。今季ここでの初認。9月19日、エゾビタキ2、樹冠でフライキャッチを繰り返していた。今季ここでの初認。ツミ2、屋敷林の上空で激しいバトル。今季ここでの初認。サシバ1、屋

敷林の上空に北から飛来し、東に流れた。9月21日、カケス1、屋敷林の間を飛び回って檜の木に飛び込んだ。今季ここでの初認。屋敷林から9羽のカラスが驚きながら飛び立った。オオタカの若鳥が追い立てていた。9月23日、2羽のハイタカが連なって、北西から南東に飛んだ。順光で翼下面の鷹斑が良く見えた。今季ここでの初認。9月25日、エゾビタキ1、樹冠の小枝にとまって、フライキャッチを2〜3度。9月26日、ハクセキレイ9、休耕畑で採餌。若鳥も混じっていた。9月27日、ヒヨドリ4、樹冠を飛び回る。近頃ヒヨドリが賑やかになってきた。渡ってきたようだ(長嶋宏之)。

越谷市 越谷レイクタウン ◇9月9日、ハジロカイツブリ1、オオミズナギドリ1(下写真)、アカエリヒレアシシギ17、ウミネコ1。台風15号通過後の午後、大相模調節池の水面に浮かぶオオミズナギドリ1を発見した。(当地では2例目)。観察中にアカエリヒレアシシギ17の群れが水面近くを飛んだが、池には降りずに飛び去った。夕方にはウミネコ1も飛来した。9月22日、イソヒヨドリ♂若鳥1、♀1。大相模調節池、南池水門近くの住宅地で観察した。♀1は29日にも観察できた。(鈴木 功)。



川越市南古谷駅付近 E35. 89758 N139. 54014

◇9月9日午前11時17分頃、オオミズナギドリ1、上空を羽ばたきながら飛ぶ。北西方向へ飛去。写真あり。その後、伊佐沼へ確認に行くが、発見できず(神戸宇孝)。

表紙の写真

カモ目カモ科マガモ属カルガモ

雪の降る日にわざわざ撮影に出かけるなんて、よい子はまねしてはいけません。

チャリバーダー46 (さいたま市)



行事案内



カンムリカイツブリ(編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：2月1日(土)

集合：午前 9 時 30 分、西武狭山線 西武球場前駅前。

担当：石光、小林(ま)、佐藤(久)、島崎、鈴木(秀)、長谷部、水谷、村上(将)、持丸

見どころ：狭山湖が冬鳥たちで最もにぎわう時季。カイツブリ類、カモ類にルリビタキ等の小鳥たちの元気な姿が、真冬の寒さを忘れさせてくれますよ。

嵐山町・菅谷館都幾川探鳥会

期日：2月1日(土)

集合：午前 8 時 35 分、東武東上線 武蔵嵐山駅西口。または午前 9 時 15 分、県立嵐山史跡の博物館駐車場。

※博物館駐車場は博物館利用者専用です。探鳥会参加者の駐車は「蝶の里公園駐車場」をお願いします。

交通：東武東上線 川越 7:58 発、または寄居 8:02 発に乗車。

担当：新井、今村、千島、中村(豊)、松下、持丸

見どころ：昨年は雑木林でトラツグミ、イカル、アカゲラ、川辺ではイカルチドリ、バン、クイナ、カワセミ、上空にはオオタカ、ハヤブサ、ノスリ、と多彩でしたね。今年は何が出てくれるでしょうか。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：2月2日(日)

集合：午前 9 時、浦和くらしの博物館民家園事務所前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

担当：大井、伊藤、須崎、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ：2 月はカモ類にとってはすでに婚活の時期、雌にプロポーズを繰り返す雄たちの様子が見られることでしょう。芝川では昨年の秋から土手の樹木は切られ、川沿いの野鳥の採餌や隠れ場所となっていた低木や草は刈られコンクリートで固められてしまいました。昨今、里山にいる生き物の急減が注目を集めていますが、こうした開発による環境の変化が野鳥たちにどのような影響があるか懸念されます。

ご注意：①コースの途中にトイレはありません。②強風等天候によってはコースを変更します。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：2月2日(日)

集合：午前 9 時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、「北里大学 メディカルセンター行き」バス 8:38 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、近藤、柴田、千葉、飛田、永野、村上(政)

見どころ：渡来当初は警戒心の強かった冬鳥たちも、人慣れしてきたところです。この時期この公園では、アオジやカシラダカを間近に見ることができます。天気が良ければ、猛禽も空高く飛んでくれることでしょう。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月2日（日）

集合：午前9時20分、森林公園南入口前。

交通：東武東上線 森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス 9:00 発で「滑川中学校」下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」は通過して下さい。下車後、歩道橋を渡るのが最短距離です。

費用：参加費と入園料大人 450 円、中学生以下無料、65 歳以上 210 円（要年齢確認）。

担当：中村（豊）、大畑、岡安、佐久間、鈴木（秀）、藤掛、藤澤、松下

見どころ：早咲きの梅の花が見られる頃。今年はカモの仲間が少ないようですが、森の中はルリビタキ、キクイタダキ、ビンズイなど冬の鳥たちが見られるはず。アップダウンのある片道約 3 km のコースです。（やや健脚向き）

さいたま市・秋葉の森総合公園探鳥会

期日：2月5日（水）平日

集合：午前9時30分、公園内管理棟付近。

交通：大宮駅西口⑧番バス乗り場から大62リハビリセンター行き8:40発で「秋葉入口」下車、徒歩約15分。バス停からご案内します。

担当：近藤、石塚（敬）、今村、小林（み）、藤田

見どころ：新規開催！ 整備された遊歩道を中心にゆっくり、ゆっくり散策。時には歩みを止めて冬鳥達の登場を“気長に”待ちましょう。

また詳細は、『しらこぼと』2017 年 10 月号の特集で紹介されています。

注意：大宮駅西口での案内人の出迎えはありません。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月9日（日）

集合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:21 発、または寄居 8:59 発に乗車。

担当：茂木、新井、大畑、倉崎、千島、飛田、中川、村上（政）

見どころ：春も間近になりました。冬鳥がみなさんを待っています。ツグミたちは草の上にキチンと姿勢を正し、木の上にはシメ、枯れ野は小鳥たちの遊び場です。寒風に負けないで元気よく観察をしましょう！

狭山市・智光山公園探鳥会

期日：2月11日（火・祝）

集合：午前9時15分、智光山公園管理事務所前。

交通：西武新宿線 狭山市駅西口から、智光山公園行き 8:38 発西武バスで終点下車。

担当：石光、小林（ま）、佐藤（久）、鈴木（秀）、藤掛、星、水谷、山本（真）

見どころ：ルリビタキ、キセキレイ、カワセミ等カラフルな鳥に期待できる公園です。今冬アカウソはどうでしょうか？ 勿論カモ類も楽しめます。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月12日（水）平日

集合：午前9時20分、森林公園南入口前。

交通：東武東上線森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス 9:00 発で「滑川中学校」下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」は通過してください。下車後、歩道橋を渡るのが最短距離です。

費用：参加費と入園料大人 450 円、中学生以下無料、65 歳以上 210 円（要年齢確認）。

担当：中村（豊）、大畑、岡安、鈴木（秀）、藤掛、藤澤、松下

見どころ：平日の静かな森を探鳥します。雑木林の道は明るく春間近の気配。見ごろを迎えている梅林に寄り、フクジュソウも楽しめます。もちろん鳥も！ アップダウンのある片道約 3 km のコースです（やや健脚向き）。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：2月13日（木）平日

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

交通：東武伊勢崎線 春日部 8:16→久喜 8:29
→花崎 8:36。または JR 宇都宮線 大宮 7:53
→久喜 8:15 で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、相原(友)、石川(敏)、
植平、竹山、茂木、渡邊

見どころ：青毛堀川沿いから園内を歩き、日
本の冬に慣れたツグミ、カシラダカ、シメ、
亜種オオカワラヒワ、ヒドリガモ等を探し
ます。思わぬ出会いがあるかも。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月15日(土)

集合：午前7時40分、丸山公園南口入口付
近。

交通：JR 高崎線 上尾駅西口③番バス乗り場
から **尾32** 西上尾第二団地経由リハビリ
センター行き 7:22 発で「丸山公園入口」
下車、徒歩約4分。

担当：近藤、秋葉、浅見(健)、浅見(徹)、柴
田、千葉、永野、吉原(早)

見どころ：早朝の静かな公園とその周辺で冬
鳥を探します。去年は、ベニマシコ、ルリ
ビタキにトモエガモまで出て、39種を確認。
さて、今年は？ 鳥たちの春への準備を観
察しましょう。

帰りのバス：下車したバス停から 12:49 発。

さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：2月15日(土)

集合：午前9時10分、岩槻文化公園の国道
16号側駐車場。

交通：東武アーバンパーク線岩槻駅東口から
朝日バスしらこぼと水上公園行き 8:43 発
で「村国入口」下車。バス停からご案内し
ます。

担当：長野、石井(健)、石川(敏)、市原、内田、
青山(美)、鈴木(紀)、鈴木(庸)、長嶋、藤
原

見どころ：冬鳥は北への旅立ちの備えを始め
ています。その様子を観察してみましょう。
トイレが完備された公園内や平坦な元荒
川沿いの道で、ゆっくり野鳥を探します。
ご注意：岩槻駅での案内人の出迎えはありません。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：2月15日(土) 午後3時～4時ころ

会場：会事務局 108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：2月16日(日)

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

交通：JR 北浦和駅東口、正面信号を左側から
渡り、50m先左手バスターミナルから東武
バス「さいたま市立病院行き」8:23 発で終
点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：須崎、青木、浅見(健)、浅見(徹)、楠
見、小菅、畠山

見どころ：私たちの眼を楽しませた冬鳥達も
渡りの準備を始めます。冬鳥に負けじと留
鳥のホオジロ、モズ、ヒバリも盛んに餌を
探している事でしょう。風が強くなければ、
芝川沿いを中心に歩きたいと思います。

志木市・柳瀬川探鳥会

期日：2月16日(日)

集合：午前9時、東武東上線 柳瀬川駅西口、
スーパーサミット前の円形広場。

担当：鈴木(秀)、小林(み)、佐久間、志村、神
場、中村(治)、中村(祐)、藤澤、持丸、山口

見どころ：川沿いをのんびり歩いて、サギ類、
カモ類、セキレイ類などを探しましょう。
イカルチドリに会うのも楽しみですね。

埼玉 Young 探鳥会 さいたま市・見沼自然公園

期日：2月16日(日)

集合：【電車の方】12時50分、埼玉高速鉄道
浦和美園駅西口。【車の方】13時30分、見
沼自然公園駐車場

交通：浦和美園駅西口②番バス乗り場から **大**
01 大宮駅東口行き 13:02 発で「締切橋」
下車

担当：河邊、市原、島崎、廣田

見どころ：この時季の見沼自然公園は、なん
といってもトモエガモ。今年も見られるか
もしれません。さらにカモに代表される水
辺の鳥だけでなくカラ類やホオジロ類な

ど森林の鳥も見られます。ヤングな皆様、
初心者の皆様、ご家族連れ大歓迎です！
ご注意：16 時ころ解散です。

東京都板橋区・浮間公園探鳥会

期日：2 月 19 日（水）

集合：午前 9 時 30 分、JR 埼京線 浮間舟渡駅
前。

担当：小林(み)、浅見(健)、石塚(敬)、今村、
藤田

見どころ：新規開催！ 駅を出るとすぐに公
園。広い池にはカモ類がいろいろ。その羽
の美しさを間近で楽しんでください。

本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：2 月 24 日（月・祝）

集合：午前 9 時 20 分、坂東大橋南詰近くの
「つきみ荘」北側。

交通：JR 高崎線 本庄駅北口から国際十王バス
伊勢崎行き 9:06 発で「坂東橋南詰」下車。

担当：新井、小渕、倉崎、千島

見どころ：昨年台風で水辺に近寄るのが難
しくなりました。新コースでの最初の探鳥
会です。草原の小鳥と猛禽類が中心になり
ますが、川を遠望する地点ではじっくりカ
モなどの水鳥を探します。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：2 月 29 日（土）

集合：午前 8 時 30 分、県立さきたま史跡の博
物館前レストハウス。

交通：JR 行田駅東口から、行田市内循環バス・
観光拠点巡回コース左回り 7:55 発で「埼
玉古墳公園前」下車、徒歩約 2 分。

担当：相原(修)、相原(友)、大畑、岡安、竹
山、村上(政)、茂木

見どころ：古墳公園では林の小鳥。田園を経
て、ヨシ原の小鳥と水鳥を探しながら公園
に戻ります。好天なら猛禽も飛ぶかも。

東京都・八丈島航路探鳥会（要予約）

期日：3 月 13 日（金）～14 日（土）

集合：13 日午後 9 時、竹芝客船ターミナル内
「SHOP 竹芝」付近。JR 浜松町駅から徒歩
15 分。ゆりかもめ竹芝駅から徒歩 1 分。

旅程：【往路】13 日午後 10 時 30 分、竹芝棧
橋発→14 日午前 8 時 55 分八丈島着（一度、
下船します）。【復路】14 日午前 9 時 40 分
八丈島発→午後 7 時 50 分ごろ竹芝棧橋着。

解散：14 日午後 8 時半ころ、竹芝棧橋。

費用：18,000 円の予定（往復船代、保険料な
どを含む。食事は付きません）

定員：16 名（日本野鳥の会会員限定）

申込み：往復葉書に住所・氏名（ふりがな）・
生年月日（西暦で）・日本野鳥の会会員番号
（*）・電話番号またはメールアドレスを明
記し、小林みどり（

）まで。2 月 1 日～2 月 7
日の消印有効。申込者多数の場合は抽選。

*会員番号は会員証および『しらこぼと』
が入った封筒のラベルに記載されています。

担当：小林(み)、浅見(健)、鈴木(紀)、藤澤
見どころ：竹芝棧橋から八丈島まで、大型客
船「橘丸」で往復。甲板から海鳥を観察し
ます。目標はアホウドリ類 3 種！ 空と海を
縫うように飛ぶ、雄大な姿に期待！

埼玉 Young 探鳥会 東京都・八丈島航路海鳥観察会 （要予約）

期日：3 月 19 日（木）～20 日（金）

集合：19 日午後 9 時半、竹芝客船ターミナル
内「SHOP 竹芝」付近。JR 浜松町駅から徒
歩 15 分。ゆりかもめ竹芝駅から徒歩 1 分。

解散：20 日午後 8 時ころ、竹芝客船ターミナ
ル内。

定員：15 名（申込者多数の場合は抽選）。

申込み：日本野鳥の会埼玉の HP 掲載の専用応
募フォームから（2 月中旬掲載）。

担当：廣田

見どころ：概ね 40 歳くらいまでの方を対象と
した探鳥会です。アホウドリ、コアホウド
リ、クロアシアホウドリ、そして 10 万羽
のオオミズナギドリの群れは圧巻です。



「橘丸」山本巧撮影

その他：船（橘丸）
のチケットは各自
購入となります。
詳細については当
会 HP で 2 月中旬
からご案内します。



行事報告

10月13日（日） 熊谷市 大森生

台風被害の影響により中止。 (新井 巖)

10月19日（土） 加須市 渡良瀬遊水地

台風被害の影響により中止。 (佐野和宏)

10月19日（土） 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：9名

海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、志村佐治、藤掛保司、三ツ矢正安、吉原早苗、吉原俊雄

10月20日（日） さいたま市 三室地区

参加：62(会員45)名 天気：晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ キジバト カワウ ゴイサギ バン ヒメアマツバメ オオタカ カワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ムクドリ ノビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ (26種) (番外：ドバト) 10月は「ノビタキ探鳥会」。最初のポイントでは見る事ができなかった。近くの携帯電波塔でオオタカ成鳥が休憩していた。次のポイントは芝川沿い。2羽のノビタキが観察できた。観察種は26種と多くはなかったが、充実した探鳥会になった。 (須崎 聡)

10月26日（土） 行田市 さきたま古墳公園

参加：42(会員38)名 天気：晴

キジ カルガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ バン トビ オオタカ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ オオジュリン (35種) (番外：ドバト) 前日の大雨もやみ、絶好の探鳥日和。雑木林ではカラ混群がお出迎え。お目

当てのジョウビタキは遠くの屋根で見られ、サギの識別を皆で楽しむ。帰りのヨシ原でベニマシコが鳴き、飛びだした姿を観られた。全員が今季初認で満足し探鳥会を終えた。 (相原修一)

10月26～27日（土～日） 長野県 戸隠高原

参加：22(会員22)名 天気：26=曇、27=曇後雨

オシドリ ヒドリガモ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ オオバン コゲラ アカゲラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス キクイタダキ コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ゴジュウカラ キバシリ ミソサザイ ムクドリ マミチャジナイ ツグミ ムギマキ スズメ マヒワ イカル ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ アオジ (37種+タカ科不明種1) 台風被害で開催が危ぶまれたが、予定していた新幹線も運行された。みどり池のカイツブリを観察したあと、昼食場所の鏡池に向かった。鏡池では、オシドリが60羽！今までの最高記録。園内は木道の老朽化で数か所が通行止めになっているが、小鳥の小道経由でいつものツルマサキに向かう。途中でお目当てのマミチャジナイ、キバシリをゲット。ツルマサキのムギマキを観察後、マユミのムギマキも見られた。2日目の宿周辺の探鳥では、愛想のよいカケスを間近で観察。植物園では前日良く観察できなかったゴジュウカラが大サービスしてくれ、楽しめた。 (菱沼一充)

11月2日（土） 上尾市 丸山公園

参加：35(会員30)名 天気：晴

マガモ カルガモ キジバト カワウ オオバン トビ カワセミ コゲラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (29種) (番外：ドバト) 開始直後ジョウビタキ♂の登場。お目当てのシメとも早々にご対面。滝の池にキセキレイが舞い降りて今年も3種。林間広場でアオゲラの姿。続く自然林ではカラ類の混群に遭遇。カケスも数羽、同時出演。前半に比し後半はやや静か。外周の湿地にアオジの音がするも、見られたのは数人だったのが少し残念。 (近藤龍哉)

11月4日(月、振休) さいたま市 大宮第二公園

参加: 72(会員65)名 天気: 晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ
コガモ キンクロハジロ カイツブリ キジバト
カワウ アオサギ ダイサギ コサギ バン オ
オバン ノスリ カワセミ コゲラ モズ ハシ
ボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒ
ヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ
シロハラ ジョウビタキ スズメ キセキレイ
ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シ
メ ホオジロ アオジ (36種) (番外: ドバト)
当地での実質第1回目の探鳥会で、大勢の参加者。
これに応じて鳥もいっぱい! 都市公園でも、条
件さえよければたくさんの鳥と出会える。なかで
も、カワセミ2羽が何度も美しい飛翔を見せてく
れて、全員釘付けに。2羽とも雄のようで、冬に
向けての縄張り争いだったのかな。(浅見 徹)

11月7日(木) 羽生市 羽生水郷公園

参加: 40(会員35)名 天気: 晴

オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ
カルガモ ハシビロガモ コガモ キンクロハジ
ロ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト
カワウ アオサギ ダイサギ クイナ バン オ
オバン トビ ノスリ カワセミ アリスイ コ
ゲラ モズ ミヤマガラス ハシボソガラス ハ
シブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ
ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビ
タキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ
カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオ
ジ オオジュリン (43種) (番外: ドバト) 休日
は親子で賑わう公園も平日は静かな環境。常連の
ヨシガモに加えオカヨシガモ、ヒドリガモ、キン
クロハジロ、ハシビロガモ等の出迎え。初記録の
カンムリカイツブリを見ていると樹上にアリスイ
がとまる。藪の小鳥を見た後、電線のミヤマガラ
スを観察している傍でツグミとアリスイのツーシ
ョットに歓声があがる。(相原修一)

11月9~10日(土~日) 宮城県 蕪栗沼

参加: 25(会員25)名 天気: 晴

キジ ヒシクイ マガン カリガネ ハクガン
シジュウカラガン オオハクチョウ オシドリ
オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ
カルガモ ハシビロガモ オナガガモ トモエガ

モ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコ
アイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジ
ロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダ
イサギ オオバン タゲリ トビ チュウヒ オ
オタカ ノスリ フクロウ カワセミ コゲラ
アカゲラ コチョウゲンボウ ハヤブサ モズ
カケス オナガ ハシボソガラス ヤマガラ ヒ
ガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナ
ガ メジロ ツグミ ジョウビタキ スズメ キ
セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワ
ラヒワ ベニマシコ ウソ ホオジロ アオジ
オオジュリン (62種) 初日の午後に蕪栗沼に到
着し、沼を1周する。カモは下見の時より少なか
ったが、アカゲラ、コチョウゲンボウ、ハヤブサ、
ヒシクイなどを観察する。夕刻にはマガン、シジ
ュウカラガンの群れが波状的に沼に戻ってきて、
最後は雲霞のごとくのねぐら入りとなった。ハク
ガン2羽もしばらくの間、飛び回ってくれた。翌
朝は5時半から飛び立ちを待つ。最初は小グルー
プのみだったが、7時前には数千羽単位の大規模
な飛び立ちが2回見られ、歓声があがった。帰途
に化女沼に立寄り、カモや小鳥類を観察。ミコア
イサ、トモエガモ、ヨシガモ、オシドリなどかな
りの種数を確認。天候に恵まれ、種数も過去数回
の中では最多となった。(長野誠治)

11月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 53(会員44)名 天気: 晴

コジュケイ キジ カイツブリ キジバト オオ
タカ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス
ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨ
ドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シ
ロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズ
メ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ
タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ
クロジ (31種) (番外: ドバト、ガビチョウ、ソウ
シチョウ) 晴れたので温かくなって出発。土手
上からはモズ、ヒヨドリ、スズメが見られたが鳥
影は少ない。河原に進む道沿いにシメ、シジュウ
カラ、メジロ、コゲラが出現、セグロセキレイは
複数で飛び交っていた。台風の影響で河原では荒
川が流れを変えていた。水鳥は下見の時と違い、
1羽もいなかった。森の中にはカラの混群がいた。
最後の池の周りで5~6種が水飲みに出現して全
員で観察できた。(茂木幸蔵)



連絡帳

●毎年恒例 栃木県支部から渡良瀬遊水地ワシタカ定点調査探鳥会のご案内

集合日時：2020 年2月2日(日) 9時 栃木市
藤岡遊水池会館駐車場

調査地：渡良瀬遊水地内の9ヵ所

内容：9時30分調査地に車で移動 10時～

12時30分調査(終了後、集合地に戻る)

13時30分～15時集計(希望者のみ)

持ち物：椅子、防寒具、(午後の集計を行う方は)お弁当

参加費：300円(会員100円) 事前申込み：不要 定員：なし 雨天時：中止

主催：日本野鳥の会栃木県支部

<https://goo.gl/VYphW5> をご覧ください。

●「見沼田んぼ見どころガイド2020」に「見沼田んぼの野鳥たち」再び

当会が作成して、さいたま市見沼田圃政策推進室発行の同誌2015年版と2016年版に掲載された「見沼田んぼの野鳥たち」が好評だったということで、同室から浅見徹幹事を通して「2020年版に若干リニューアルして再掲したい」との申し出が届きました。役員会で検討した結果、「前回の写真と解説文を担当した海老原美夫副代表が今回も担当する」ことを回答。海老原は掲載種の見直し、解説の一部書き直しなどの作業を急ピッチで進めています。

●会員の普及活動

11月30日(土)、越谷市環境推進市民会議主催「久伊豆神社の社寺林をみてみよう！」に山部直喜代表が出席。毎年、同神社で秋冬に形成されているカラスの集団罅について解説しました。

12月8日(日)、(株)まちづくり越谷主催

「水辺の街・越谷をめぐるサイクリングツアー」で、山部代表が途中で出会った野鳥の観察と解説を行いました

12月10日(火)、上尾丸山公園で小林みどり副代表が3名の上尾市自然学習館自然学習指導員に対して、野外実習(探鳥)と室内講座の研修を実施しました。

●会員数は

1月6日現在1,546人です。

活動と予定

●12月の活動

12月14日(土) 1月号校正作業(海老原美夫、佐久間博文、長嶋宏之)。

12月15日(日) 役員会(司会：山部直喜。「見沼田んぼの野鳥たち」など)。

12月21日(土) 1月号をpdf化し、本部総務室に送信、全国配布を依頼(海老原美夫)。

12月23日(月) 『野鳥』誌と同封発送しない会員向け『しらこぼと』1月号を郵便局から発送した(海老原美夫、山部直喜)。

●2月の予定

2月1日(土) 編集部会(午後4時から)。

2月8日(土) 普及部会(午後2時から)、3月号校正(午後4時から)。

2月15日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

2月16日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

1月2日に開いた編集部長からのメールに「今12/31の23時」とあった。正月休み中にも関わらず、野鳥情報、行事案内、行事報告などの各担当者たちから、編集部長のもとに次々と原稿が届いている。その原稿の元にはそれぞれの活動があり、更にその活動を支える会員の皆様たちがいる。そう考えていくと、我々って、会員全体のワンチーム!?

(ebi)

しらこぼと 2020年2月号(第431号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org

編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635

〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。印刷 関東図書株式会社